12月 園だより

＜教育目標＞　・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R2. 11. 27　文京区立本駒込幼稚園

豊かな生活の工夫

園長　原田幸子

早いもので今年も残すところ１か月となりました。園生活を振り返ると、新しい日常生活の中で、毎朝の健康チェックや手洗い・うがいの習慣が身に付いたり、マスクを自分からできるようになったりと、健康面での大きな成長が見られました。保護者の皆様には、毎朝の検温や時差登降園など、たくさんのご協力をいただいており、心から感謝申し上げます。

教職員も知恵を出し合い、力を合わせ、感染症対策に日々努めています。特に昼食の準備は、パーテーションの設置やテーブルの消毒など職員総出で行っています。このような中でも、できるだけ豊かな体験ができるように、活動や環境を工夫しています。今年も、子どもたちの笑顔や元気に遊ぶ姿がたくさん見られ、本当によかったと思います。

運動会は学年ごとの開催でしたが、保護者の方からは、「感染症対策がきちんと行われており、安心してゆったり見ることができました」と温かな感想をいただきました。

また、カキを収穫した日には、「去年、幼稚園のカキを食べてから、うちの子はカキが好きになったんです」というお声をいただきました。年少組でハツカダイコンを収穫した翌日には、「今まで野菜をあまり食べなかったのに、昨日は食べたんです。食育ですね！」と夕食時の写真をうれしそうに私に見せてくださいました。

行事の様子を映像に収めたＤＶＤ貸し出しや幼稚園公開は、「生活の様子がよく分かりました」「家族でＤＶＤを見て、楽しみました」ととても好評で、保護者の皆様に園生活の様子をより深くご理解いただくことができました。

先日の幼稚園学校運営連絡協議会では、地域の委員の皆様にご出席いただき、本園の今年度の教育について説明申し上げ、ご意見をいただきました。その中で「コロナ禍においても、運動会や発表会などの行事を工夫しながら行っているので、本駒込幼稚園の子どもたちは幸せですね」「できないとあきらめるのではなく、できるやり方を考えることが大切ですね」というご意見をいただきました。

温かな皆様のお言葉は、私たち教職員の大きな励みになります。これからも保護者の皆様、地域の皆様、幼稚園が共に協力し、子どもたちの成長を支えてまいりましょう。

年末年始、子どもたちにとっては楽しみが多い季節です。健康に十分気を付けて過ごしましょう。